



フレンドリーアーチェリー

会場地 : 加東市(旧滝野町)

競技紹介

アーチェリーは古くから狩猟の道具として発達してきました。また武器としても用いられましたが鉄砲の発達により衰退していきました。その後イギリス王室を中心にスポーツとして復活し、ヘンリー8世もアーチェリーの愛好家だったとされています。ロビンフッドの物語もこのころのお話です。

アーチェリーは弓を引き、矢を放ち、より高い得点を得るよう的の中心を射る競技で、ルール、射る距離、引き方、弓具など、和弓とはまったく違います。アーチェリーの弓は、サイト(照準機)などがついており、和弓より命中精度が高くなっています。

バケツ一杯の水を持ち上げることができれば誰でもできるスポーツで、健常者と障害者が同等に戦える数少ない競技でもあります。

滝野町は、多くのアーチャー、クラブ、競技団体から支援を受けながらアーチェリーのまちづくりを進めてきました。そうした、アーチェリーを通じた多くの人たちの友情に感謝し、フレンドリーアーチェリーを開催します。

競技方法



予選ラウンドは、3クラス(70mダブル、50 - 30m、30mダブル)ごとに72射し、その合計得点による個人戦とします。

決勝ラウンドはチーム(3名)の個人戦合計得点の上位4チームによるトーナメントとします。

団体戦は3名を1チームとし、1人2射、計6射を4エンド繰り返し、合計得点の高いチームが次のトーナメントに勝ち進みます。

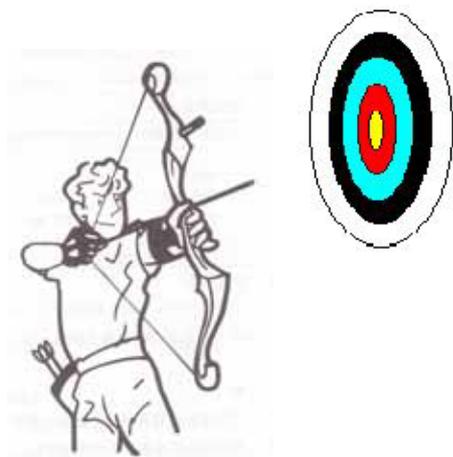
競技場の概要

【会場】

加東市滝野総合公園多目的グラウンド 特設アーチェリー場



普段は野球、ソフトボール、サッカー等に利用され、9月第1日曜日は町を挙げての体育祭が開催されます。2005年に体育館がオープンし、テニスコートと合わせて運動施設ゾーンが整いました。



第3回全関西コンパウンドアーチェリー競技会の風景

加東市ではアウトドアとインドアの二つのアーチェリー競技会やアーチェリー教室を開催し、生涯スポーツの一つとして、アーチェリーの普及を図っています。